

科目名	北海道の医療と社会・経済	担当教員	佐藤公博 ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	--------------	------	--------------------------

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
理学療法専攻 作業療法専攻	教養科目	必修	1年次	後期	1単位	講義

科目概要	これからの医療者は、単なる職業的技術者であってはならず、その視野は歴史的にも、同時代の世界に対しても広く開かれたものでなければならない。しかし人間は同時に具体的な閉じられた社会の中に生きているのであり、自らの現場である地域社会に関する広く深い認識を持たなければならない。そのために、足下の北海道の社会と歴史、なかんずく医療と経済について、詳細な知識を持っていなければならない。自らが現実生きる地域社会の問題と課題を的確に見て取り、それを克服して地域社会に貢献する際の土台を形成させるのが、本講義の狙いである。
学習目標	1. 医療と地域社会のかかわりについて全体像を理解することができる。 2. 複雑な制度の中で生じている医療について問題を把握し解決の方法について考察することができる。

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験 教員担当 項目
1	総論	医療に対する社会科学からの接近：医療、福祉、保健、医療問題の構造、医学モデルと社会モデル	医療について社会科学の視点から考察することの意義を理解できる。	
2	各論1	日本の医療制度、諸外国の制度との比較、国民皆保険制度、医療費、GDPに占める割合、北海道の地域特性	日本の医療制度のしくみについて理解し、北海道の医療について経済的視点から理解することができる。	
3	各論2	サービス業としての医療：他の産業との比較、社会的共通資本、経済的側面	「サービス業としての医療」の視点を理解することができる。	
4	各論3	健康と病気の社会性：健康の定義、主観的健康と客観的健康、予防、健康管理の重点化	現代の健康観について社会の視点から理解することができる。	
5	各論4	チーム医療と専門職論① 国家資格化、専門化と合理化	理学療法士・作業療法士が国家資格化した背景について理解することができる。	
6	各論5	チーム医療と専門職論② 他職種連携は重要であると同時に、なぜ困難なのだろうか	チーム医療の重要性と困難性について考察することができる。	
7	各論6	医療を支える制度の新しい流れ：地域包括ケアシステム、地方創生、健康の”見える化”	これからの医療の大きな流れについて理解することができる。	
8	各論7	「医療」、「保健」、「福祉」の統合とヘルスケアの視点：地域が抱える問題の本質、人口構造の変化、地域経済の衰退	地域が抱える医療問題の本質を理解し、解決の方法について考察することができる。	
評価方法		筆記試験(100%)		
教科図書		川越満・布施泰男(2016)よくわかる医療業界 最新3版, 日本実業社		
参考図書		池上直己(2014)医療・介護問題を読み解く, 日本経済新聞社		
学習の準備		なし		
オフィスアワー		授業第1回のガイダンスで説明する。		
担当教員欄に※印を附した教員の実務経験				